

言語活動ワークシート（読解教材に即したA-L実践シート）

▼本資料は、読解教材に即したアクティブ・ラーニング実践のためのワークシートである。各教材に設けられた「表現と言語活動」の中で、特に「言語活動編」に深い関わりを持つものについて取り上げている。本資料の活用を通じて、実践的な授業を展開するためのヒントにされたい。

【教材名】「羅生門」（芥川龍之介）

【活動内容】「討論する」

【課題】「老婆（下人）の発言についてどのように考えるか、討論しよう。」

「バズセッション」「パネルディスカッション」「シンポジウム」「ディベート」など、討論にはいくつかの形態がある。論題を掘り下げ、考えを深めるためには、論題にふさわしい形態を選ぶことが重要である。教室の実態に応じて有効な形態、および論題を設定してほしい。

なお、さまざまな論題に対応できるように、ここでは、ディベート・バズセッション・パネルディスカッションの三種類に対応したワークシートを用意した。

【ディベート】シート①～⑦

・構成と使い方

①**準備シート**…論題について肯定的意見・否定的意見を書き出し、立論や反論の際のベースとする。まずは対立するような論題を設定する。解答例では「老婆の主張は肯定されるべきである。」とする論題を立てた。

②**立論シート**…ディベートに参加するチーム（ここでは1チーム3人構成）は、誰がどのパートを担当するかを決める。それぞれのパートでは、担当者以外は話をしてはいけないことを確認させる。準備シートに書き出したことをもとにチームで立論をまとめ、発表用のメモを作る。この時、肯定側は肯定的意見をもとに、否定側は否定的意見をもとに、意見を整理していく。時間的に余裕があれば、メモをもとに原稿を作成し、発表の練習をさせておく。

③**反論想定シート・反論シート**…事前準備で相手側の立論を想定して反論を考える時と、実際のディベートで実際の相手側の立論に対する反論を考える時の両方で使用する。

「反論想定シート」…①の準備シートに書き出したことをもとに、肯定側は否定的意見から、否定側は肯定的意見から、相手側の立論を想定して反論を考えておく。

「反論シート」…ディベートの場で相手側の立論を聞いて要旨をまとめ、よく分からなかった点や疑問点・反論点はメモして質疑や最終弁論に生かす。質疑はあくまでも不明な点の確認だけであり、反論の場ではないため、直接的な反論の形を取らずに、相手側の立論の矛盾点や問題点が浮かび上がるような質問を考える。質問に対する回答は立論の担当者が受ける。

④**最終弁論シート**…最終弁論では、事前に想定しておいた反論や質疑でのやり取りを踏まえ、再度、自分たちの立論を主張する。相手側への反論を入れながら、最終弁論の構成を考える。

⑤**記録メモ（聞き手用）**…聞き手（審判）用のシート。各チームの発表の要旨をメモしながら聞く。

⑥**評価表（聞き手用）**…聞き手（審判）はここに示したような観点に沿って、各チームの発表を5段階で評価する。トータルの点数を出し、審判全員の点数を合算して高かったチームが勝ちとなる。

⑦**振り返しシート**…学習を振り返って自己評価を行う。発表者と審判、それぞれの立場によって磨かれる能力は異なるため、できれば生徒一人一人がどちらも経験できるように授業プランを組みたい。

※シート①②③④については記入例を示した。②③④は、肯定側・否定側のそれぞれを示している。

・解説

ディベートは二つのことが対立するような論題の場合に有効である。ディベートは、本来、その意見がいかに優れているかではなく、論理的に話したり相手の論に対して的確に反論したりという、論理性や話し方の技術を競うものであるが、ここでは老婆の主張が肯定されるべきものかどうか、その考えを深めるための討論にしたい。なお、教科書の「言語活動編」には「ディベートの流れ」について一例を示したが、立論1回・反論（最終弁論）1回の最もシンプルな形を取っている。高校生のためのディベートとしては「ディベート甲子園」などが知られているが、ここでは立論1回・反論2回の形を取る。それ以外にも、主張・反論各2回の形などもあり、活動にあてられる時間・生徒のスキル・1チームの人数をどうするかなどに応じて柔軟に考えたい。

【バズセッション】シート⑧～⑩

・構成と使い方

⑧**グループディスカッションシート**…バズセッションにふさわしい論題を設定する。解答例では、「下人が老婆に言い放った最後の発言について、どのように考えるか。」という論題を立てた。リーダーと書記を決め、リーダーは、メンバー全員ができるだけ多く発言できるように配慮しながら、話し合いを進める。シートには、出た意見を書き出していく。

⑨**整理シート（座標軸法）**…各メンバーから出た意見を整理していく。ここでは、二種類の対になる観点に沿って意見を整理していく座標軸法のワークシートを用意した。まずは二種類の観点を決めて縦軸と横軸に配し、それぞれの意見が座標軸上のどのあたりに位置するかを考えて書き込んでいく。意見を付箋などに書いて貼っていくようにすると、簡単に位置をずらしたり、複数の意見を重ねて貼ったりすることができる。解答例では、「下人が老婆に言い放った最後の発言について、どのように考えるか。」というテーマを分析するために、「物語全体」と「下人個人」、「肯定的意見」と「否定的意見」を観点として立てた。

⑩**全体討論シート**…各グループの発表を聞き、要旨をメモする。それぞれの発表に対する感想・コメントをつけておき、これをもとに全体討論に臨む。

⑪**振り返りシート**…学習を振り返って自己評価を行う。

※シート⑧⑨については一部記入例を示した。

・解説

いろいろなアイデアを出したい時、物事の方角性を決めたい時などに有効な討論方法である。多人数で話し合いはどうしても発言者が限られてしまうが、バズセッションでは全員が考えを出せるというメリットがある。はじめに6名程度の小グループで5〜6分間話し合い、グループの意見を一つにまとめる。全体討論の場では、各グループのリーダーがまとめた意見を発表し、それをもとに全体で方向性を話し合う。

【パネルディスカッション】シート⑫～⑬

・構成と使い方

⑫ **聞き取りシート**：聞き手（フロア）用のシートである。聞き手はパネリストの発表を聞き、要旨をメモする。疑問点や反論点をつけておき、これをもとに意見交換に臨む。

⑬ **振り返りシート**：学習を振り返って自己評価を行う。

・解説

パネルディスカッションを行う場合には、教科書の「言語活動編」中の「意見文を書く」活動と組み合わせるとよい。本文を読んで、「老婆（下人）の発言について」意見文を書かせ、観点の異なる意見を書いた数名をパネリストとして選ぶ。パネルディスカッションで最も難しい役割は司会である。司会は事前にパネリストの主張（意見文）に目を通し、発表の順番や質問などパネリストと打ち合わせしておく。討論の場では、意見交換を促したり、話がそれた場合の軌道修正を行ったりする。生徒のスキルが十分でないようであれば、司会は教師が行ってもよい。

【ディベート①／準備シート】

* 論題を設定し、肯定的意見と否定的意見を書き出す。
* 必要に応じて根拠となる資料名や出典をメモしておく。

論題〔提案〕

肯定的意見

否定的意見

羅生門②

年 組 番 名前

【ディベート②／立論シート】

論題

チーム 〈肯定側・否定側〉(○で囲む)

担当 立論(応答) [] 質疑 [] 最終弁論 []

進行 ①肯定側立論 []分 ↓ ②作戦タイム []分 ↓ ③否定側質疑・肯定側応答 []分

④否定側立論 []分 ↓ ⑤作戦タイム []分 ↓ ⑥肯定側質疑・否定側応答 []分

⑦作戦タイム []分 ↓ ⑧否定側最終弁論 []分 ↓ ⑨肯定側最終弁論 []分

立論発表用メモ

- ・最初に立場の表明をする。「私たちは論題を肯定します。」「私たちは論題を否定します。」
- ・論題への肯定的意見(あるいは否定的意見)について、2〜3点程度にまとめて説明する。

私たちは論題を [] します。

【ディベート③／反論想定シート・反論シート】

相手側の立論を想定して反論を考えておく。／相手側の立論に対して疑問点や反論を考える。

サンプル

想定される相手側の立論	反論のポイント
※相手側の立論	※相手側の立論に対する反論

肯定側 <input type="text"/> チーム			否定側 <input type="text"/> チーム		
[]		立 論	[]		
[] ※否定側立論に対する質問			質 疑	[] ※肯定側立論に対する質問	
[]				[]	
講 評					
肯定側について	全体について		否定側について		

【ディベート⑤／記録メモ（聞き手用）】

羅生門⑤

年 組 番 名前

※「」 担当者の名前を入れる。

<p style="text-align: center;">肯定側</p> <p style="text-align: center;">□ チーム</p>	<p style="text-align: center;">評価項目</p>	<p style="text-align: center;">否定側</p> <p style="text-align: center;">□ チーム</p>
<p>(悪い) (良い)</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p>	<p>【立論】</p> <p>①論拠が妥当であり、論理に無理や矛盾がないか。</p> <p>②根拠とした事実やデータに信頼性はあるか。</p> <p>③主張と根拠は区別されているか。</p> <p>④話す内容は項目ごとにまとまっており、順序立てられているか。</p> <p>⑤話し方は適切か。(速度・声の大きさなど)</p>	<p>(悪い) (良い)</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p>
<p>※否定側への質問</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>※否定側質問への応答</p> <p>1・2・3・4・5</p>	<p>【質問】</p> <p>①相手側への反論や単なる自分側の主張になることなく、相手の主張を正確に引用して質問しているか。</p> <p>②相手の主張の問題点が浮かび上がるような質問をしているか。</p> <p>③時間配分が適切になされているか。</p> <p>④話し方は適切か。(速度・声の大きさなど)</p> <p>【応答】</p> <p>⑤相手の質問に対し、適切で説得力のある応答ができていたか。</p>	<p>※肯定側への質問</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>※肯定側質問への応答</p> <p>1・2・3・4・5</p>
<p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p>	<p>【最終弁論】</p> <p>①相手側からの質問も踏まえ、再度立論に立ち返って主張しているか。</p> <p>②相手側の主張に対し、根拠を示して反論できているか。</p> <p>③話す内容は項目ごとにまとまっており、順序立てられているか。</p> <p>④話し方は適切か。(速度・声の大きさなど)</p>	<p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p> <p>1・2・3・4・5</p>
<p style="text-align: center;">点</p>	<p style="text-align: center;">合計点数</p>	<p style="text-align: center;">点</p>

年 組 番 名 前

【ディベートの振り返りシート】

ディベート全体を振り返り、□にチェックマークを入れよう。

「自己評価の観点（チームとして）」

- 準備に際して、信頼できる事実やデータを集め、しつかりとした論拠を立てることができたか。
- 主張と根拠を明確に区別し、論理的な立論を立てることができたか。
- 準備段階から相手側の立論内容を想定し、相手側の立論に対して効果的な反論をすることができたか。
- 相手の意見を正しく聞き取った上で、適切な質問をすることができたか。
- 相手の質問の意図をすばやく理解し、適切に応答することができたか。

「自己評価の観点（個人として）」

- 聞き取りやすい話し方ができたか。（速度・声の大きさなど）
- チーム内での話し合いに協力的であったか。

「自己評価の観点（聞き手として）」

- 発言の要旨を簡潔にメモしながら聞くことができたか。
- 各チームの発言の論拠や論理性について評価することができたか。

論題に対する最終的な自分の考えや残った疑問点など

討論によって深まったこと

今後、身に付けたい言語能力

ディベート全体を通しての感想

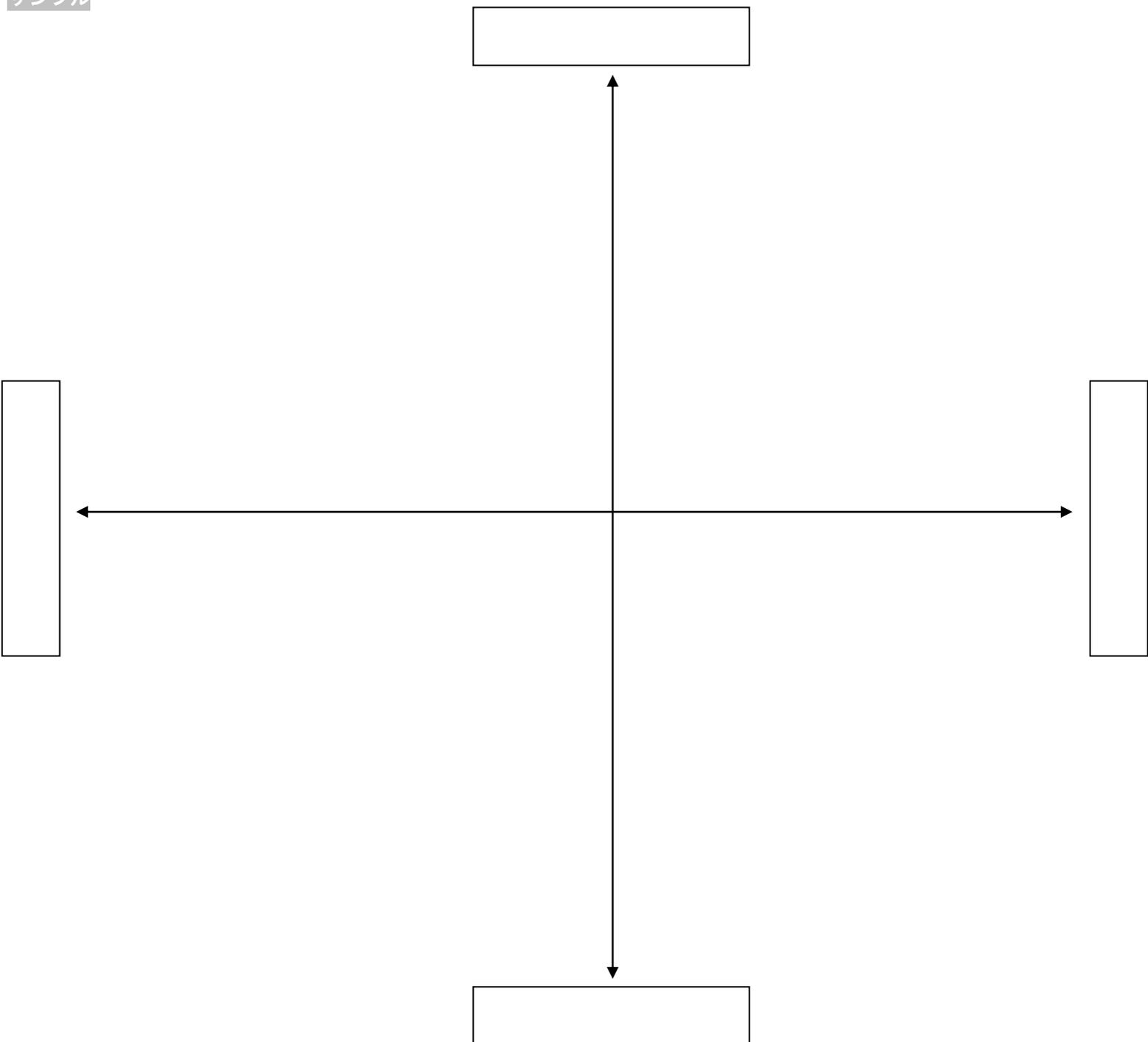
羅生門⑨

年 組 番 名前

【バスセッション②／整理シート（座標軸法）】

各メンバーの意見を複数の観点に沿って整理していく。出た意見をもとに二種類の対になる観点を決めて縦軸と横軸に配し、それぞれの意見が座標軸上のどのあたりに位置するかを考えて書き込む。（付箋などに書いて貼ってもよい。）全体を見ながらチームの意見をまとめる。（観点の例）縦軸：「社会・個人」、横軸：「肯定・否定」など

サンプル



【バスセッション③／全体討論シート】

各グループの意見

※「」グループ名を入れる

感想			「
			」

感想			「
			」

感想			「
			」

感想			「
			」

【バズセッション④／振り返りシート】

バズセッション全体を振り返り、□にチェックマークを入れよう。

「自己評価の観点（グループディスカッション）」

- 自分の考えをしっかりと述べる事ができたか。
- 自分の考えと同じ点や違う点、視点の違いなどに気をつけて、他のメンバーの考えを聞くことができたか。
- グループでの意見交換に積極的に参加したか。
- 各メンバーの意見をもとに、グループとして一つの意見にまとめることができたか。

「自己評価の観点（全体討論）」

- 自分のグループの意見を明確に伝えることができたか。 ※リーダーのみ
- 他グループの意見を聞き、自分たちの意見との違いやそれぞれの良いところなどに気づくことができたか。
- 全体討論での話し合いに積極的に参加したか。

全体としてまとまった意見

論題に対する最終的な自分の考えや残った疑問点など

討論によって深まったこと

今後、身に付けたい言語能力

バズセッション全体を通しての感想

羅生門 ⑫

年 組 番 名前

【パネルディスカッション①／聞き取りシート】

テーマ

各パネリストの意見（主張の要旨と根拠）

〔 〕

疑問点・反論点・同意点・感想など

〔 〕

疑問点・反論点・同意点・感想など

〔 〕

疑問点・反論点・同意点・感想など

〔 〕

疑問点・反論点・同意点・感想など

サンプル

【パネルディスカッション②／振り返りシート】

パネルディスカッション全体を振り返り、□にチェックマークを入れよう。

【自己評価の観点（パネリスト）】

- 自分の考えを、根拠をあげて論理的に述べることができたか。
- 他のパネリストの意見を聞き、自分の意見との違いなどについて考えたり質問したりしたか。
- 他の考えを否定するのではなく、全体で考えを深めようという意識を持って討論に参加したか。

【自己評価の観点（司会）】

- 各パネリストが公平に発言できるよう、割り振りなどを考えて進行できたか。
- 各パネリストの主張の中で分かりづらかった点は質問して補足説明を促すなどし、それぞれの意見がフロアに明確に伝わるようにできたか。
- パネリスト同士や、パネリストとフロアとの意見交換が活発になるような投げかけができたか。
- 話が論題からそれたり、一人の話す時間が長くなりすぎたりした場合には、軌道修正できたか。

【自己評価の観点（フロア）】

- パネリストの意見を聞き、それぞれの意見の違いや良い点などに気づくことができたか。
- 疑問点などについて質問することができたか。
- パネルディスカッションを通して自分自身の考えを深められたか。

パネリストのどの意見にもっとも賛同したか

討論によって深まったこと

今後、身に付けたい言語能力

パネルディスカッション全体を通しての感想

【ディベート①／準備シート】

* 論題を設定し、肯定的意見と否定的意見を書き出す。
 * 必要に応じて根拠となる資料名や出典をメモしておく。

論題〔提案〕

老婆の主張は肯定されるべきである。

肯定的意見

- 飢え死にをするかどうか、老婆は生死の瀬戸際に立たされている。そのような状況において、善か悪かというモラルの問題を単純に論じることはできない。
- 今日的な視点や道德観からだけで、老婆の行為を否定することはできない。
- そもそも、すべて生き物の生存というものは、他者の犠牲のうえに成り立っているはずだ。老婆の行為を否定するならば、動物の毛や皮を剥いで嗜好品を作っている現在の私たちの生活について、どのように考えるのか。
- 本文には「この二、三年、京都には、地震とか辻風とか火事とか飢饉とかいう災いが続いて起こった。」とあり、荒廃しきった当時の世相がうかがえる。老婆の個人的な悪事というよりも、そのような悪事が蔓延してしまう社会的状況に目を向けるべきではないか。

否定的意見

- 死人が生前に悪事を働いていたとしても、そのことが死人の髪の毛を抜いてよい理由にはならない。いくら死人とはいえ、他者を犠牲にしてまで生きようとするのはあさましい行いだ。エゴイズムの極みではないか。
- 「しかたがない」という一言のもとに老婆の行為を正当化することはできない。もしこのような一方的な論理が正当化されてしまうならば、あらゆる非人道的な行為が、「しかたがない」こととして簡単に片づけられてしまう。
- そもそも、死人が生前に悪事を働いていたという老婆の発言自体が、まったく信憑性のないものではないか。その場の言い逃れのために、老婆が創作した作り話の可能性もある。
- 老婆は「おおかたわしのすることも大目に見てくれる」と発言しているが、つまりそれは自分の行為が悪事であることをしっかり自覚していたことを裏付けている。それが悪だと知りつつも悪事を働くという自覚的行為であるという点で、老婆の行為はいっそう非難されるべきものだ。

羅生門②

年 組 番 名前

【ディベート②／立論シート】「肯定側記入例」

論題

老婆の主張は肯定されるべきである。

チーム 〈肯定側・否定側〉(○で囲む)

担当 立論(応答)

〔 〕

質疑

〔 〕

最終弁論

〔 〕

進行

①肯定側立論

〔 分〕

↓②作戦タイム

〔 分〕

↓③否定側質疑・肯定側応答

〔 分〕

④否定側立論

〔 分〕

↓⑤作戦タイム

〔 分〕

↓⑥肯定側質疑・否定側応答

〔 分〕

⑦作戦タイム

〔 分〕

↓⑧否定側最終弁論

〔 分〕

↓⑨肯定側最終弁論

〔 分〕

立論発表用メモ

- ・最初に立場の表明をする。「私たちは論題を肯定します。」「私たちは論題を否定します。」
- ・論題への肯定的意見(あるいは否定的意見)について、2〜3点程度にまとめて説明する。

私たちは論題を **肯定** します。

老婆の主張が肯定されるべき理由：3点

(1) 飢え死にをするかどうか、老婆は生死の瀬戸際に立たされている。そのような状況において、善か悪かというモラルの問題を単純に論じることはできない。

↓今日的な視点や道徳観からだけで、老婆の行為を否定することはできないのではないだろうか。

(2) そもそも、すべて生き物の生存というものは、他者の犠牲のうえに成り立っている。

↓老婆の行為を否定するならば、他の動物の命を奪って食料としたり、その毛や皮を剥いで嗜好品を作ったりしている私たちの生活について、どのように考えたらよいのか。

(3) 老婆の個人的な悪事というよりも、そのような悪事が蔓延してしまう社会的状況に目を向けるべきである。

↓本文にも「この二、三年、京都には、地震とか辻風とか火事とか飢饉とかいいう災いが続いて起こった。」と書かれている。時代背景として、末法思想が流行していたことについても考える必要がある。

羅生門②

年 組 番 名前

【ディベート②／立論シート】「否定側記入例」

論題

老婆の主張は肯定されるべきである。

チーム 〈肯定側・否定側〉(○で囲む)

担当 立論(応答)

〔 〕

質疑

〔 〕

最終弁論

〔 〕

進行

①肯定側立論

〔 分〕

↓②作戦タイム

〔 分〕

↓③否定側質疑・肯定側応答

〔 分〕

④否定側立論

〔 分〕

↓⑤作戦タイム

〔 分〕

↓⑥肯定側質疑・否定側応答

〔 分〕

⑦作戦タイム

〔 分〕

↓⑧否定側最終弁論

〔 分〕

↓⑨肯定側最終弁論

〔 分〕

立論発表用メモ

- ・最初に立場の表明をする。「私たちは論題を肯定します。」「私たちは論題を否定します。」
- ・論題への肯定的意見(あるいは否定的意見)について、2〜3点程度にまとめて説明する。

私たちは論題を **否定** します。

老婆の主張が否定されるべき理由…4点

(1) 死人が生前に悪事を働いていたとしても、そのことが死人の髪の毛を抜いてもよい理由にはならない。
↓いくら死人とはいえ、他者を犠牲にしてまで生きようとするのはあさましい行いだ。エゴイズムの極みではないだろうか。

(2) 「しかたがない」という一言のもとに老婆の行為を正当化することはできない。

↓もしこのような一方的な論理が正当化されてしまうならば、戦争や犯罪など、あらゆる非人道的な行為が、「しかたがない」こととして簡単に片づけられてしまう。

(3) そもそも、死人が生前に悪事を働いていたという老婆の発言自体が、まったく信憑性のないものではないか。

↓その場の言い逃れのために、老婆が創作した作り話の可能性がある。

(4) 老婆の行為は、それが悪と知りつつ自覚的になされており、非難されるべきである。

↓老婆は「おおかたわしのすることも大目に見てくれる」と発言している。つまりそれは、自分の行為が倫理的に悪いことだとはつきりと自覚していたことを裏付けている。

【ディベート③／反論想定シート・反論シート】〔肯定側記入例〕

相手側の立論を想定して反論を考えておく。／相手側の立論に対して疑問点や反論を考える。

サンプル

想定される相手側の立論	反論のポイント
<p>※相手側の立論</p> <p>①他者を犠牲にしてまで生きようとするのは、あさましい行いだ。人間のエゴイズムを見逃すわけにはいかない。</p> <p>②老婆が極限状態に置かれているからといって、悪事を悪事として見過ごすことはできない。</p> <p>③死人が生前に悪事を働いていたという老婆の発言自体が、作り話である可能性がある。</p>	<p>※相手側の立論に対する反論</p> <p>→①すべて生き物の生存というものは、他者の犠牲のうえに成り立っている。老婆の行為を否定するならば、他の動物の命を奪って食料としたり、その毛や皮を剥いで嗜好品を作ったりしている私たちの生活について、どのように考えたらいいのか。それでももし人間と他の動物は違うのだ、と主張するならば、それこそ人間中心主義的なエゴイスティックな見方になってしまわないだろうか。</p> <p>→②飢え死にをするかどうか、老婆は生死の瀬戸際に立たされている。そのような状況において、善か悪かというモラルの問題を単純に論じることはできない。老婆の行為を「悪」と判断するのも、あくまでも今日的な視点・道徳観によるものである。むしろ、そのような事態が蔓延してしまう社会的状況に目を向けるべきではないか。</p> <p>→③確かに、死人が生前にどのような行為を働いたかということについて、客観的に知り得るすべはない。だが、重要なのは、仮に老婆の発言が作り話だったにせよ、そのような言い逃れを老婆に強いることになっている異様な状況なのではないか。それだけの極限状態に老婆は置かれているわけであり、やはりここでも、老婆が嘘をついているかどうかというモラルの問題は論じるべきではないのではないか。</p>

【ディベート③／反論想定シート・反論シート】〔否定側記入例〕

相手側の立論を想定して反論を考えておく。／相手側の立論に対して疑問点や反論を考える。

サンプル

想定される相手側の立論	反論のポイント
<p>※相手側の立論</p> <p>①老婆は極限状態に置かれており、その中での行為は善か悪かという単純なモラルの問題では片づけられない。</p> <p>②今日的な視点・道徳観からだけで、老婆の行為を否定することはできない。</p> <p>③人間の生存というもの自体がさまざまな他者の犠牲によって成り立っているのだから、老婆の行為をエゴイズムという問題から批判することはできない。</p>	<p>※相手側の立論に対する反論</p> <p>→①極限状態であればモラルが問われないというのは、悲観的な考えではないか。むしろ極限状態においてこそ、その人の真価というものは発揮されるはずだ。例えば、ナチスドイツ時代の強制収容所において、餓死寸前の極限状態にあった人間が、それでもパンを仲間に分け与えたという話がある。飢え死にするかどうかの瀬戸際とはいえ、死人の髪の毛を抜いていたという老婆の行為は、極限状態に置かれることで露呈した老婆の真の姿と考えるべきではないか。</p> <p>→②老婆は発言の最後で、「おおかたわしのすることも大目に見てくれる」ということを言っている。つまりそれは、自分の行為が悪事であることをしっかりと自覚していたことの裏付けである。それが悪だと知りつつも悪事を働くという自覚的行為であるという点で、老婆の行為はいっそう非難に値する。</p> <p>→③確かに、私たちの生活は、多くの動植物の命の犠牲のうえに成り立っている。だが、それはあくまでも食物連鎖という生物としての営みの範疇でのことである。人間同士が社会を営むためには、倫理的なルールが必要であり、死人であれ、他者の人権を侵害してもよいとするいかなる理論も存在しえない。</p>

【ディベート④／最終弁論シート】〔肯定側記入例〕

「老婆の主張は肯定されるべきである。」…理由を、再度、3つの観点から述べる。

(1) 飢え死にをするかどうか、老婆は生死の瀬戸際に立たされている。そのような状況において、善か悪かというモラルの問題を単純に論じることはできない。

否定側：極限状態であればモラルが問われないというのは、悲観的な考え。むしろ極限状態においてこそその人の真価というものは発揮されると主張。

↓戦争など、極限状態に置かれた人間の感覚が麻痺してしまい、正常な判断ができなくなる事例は数多く存在する。否定側の反論は、楽観的な性善説に立ってはいないか。

(2) 私たちの生活は、他の動物の命を奪って食料としたり、その毛や皮を剥いで嗜好品を作ったりして成り立っている。そもそも、すべての生存は他者の犠牲のうえに成り立っている。

否定側：生物としての営みと、人間が社会を維持するための倫理的な営みは違う。死人であれ、他者の人権を侵害してもよいといういかなる理論も存在し得ないと主張。

↓人間の社会を問題にするならば、それこそ他者の犠牲のうえに成り立っていると云わざるを得ない。貧富の格差の問題をはじめ、強者が弱者を搾取するという社会的な構図が存在し、そこには必ず侵害された人権の問題が横たわっているからだ。

(3) 今日の視点・道徳観から老婆の行為を否定することはできない。

否定側：老婆は自分の行為が悪事であることをしっかりと自覚していたわけで、それは当時の道徳観に照らしても老婆の行為が忌むべきものだったことを裏付けていると主張。

↓老婆の取ったような行為が蔓延してしまう社会的状況に目を向けるべきである。時代背景として、末法思想が流行していた点を押さえる必要があり、世紀末的な暗い世相が老婆の行為に及ぼした負の影響について考えるべきだ。

以上のような点から、老婆の主張は肯定されるべきであると主張する。

【ディベート④／最終弁論シート】〔否定側記入例〕

「老婆の主張は否定されるべきである。」…理由を、再度、3つの観点から述べる。

(1) 他者を犠牲にしてまで生きようとするのはあさましい行いだ。人間のエゴイズムの問題を見逃すことはできない。

肯定側：すべて生き物の生存というものは、他者の犠牲のうえに成り立っている。老婆の行為を否定するならば、他の動物の命を奪って食料としたり、その毛や皮を剥いで嗜好品を作ったりしている私たちの生活について、どのように考えたらよいのかと主張。

↓生物としての営みと、人間が社会を維持するための倫理的な営みは違う。死人であれ、他者の人権を侵害してもよいといえるかなる理論も存在し得ない。老婆の行為は、明らかに死人の自己所有権を侵害している。

(2) 死人が生前に悪事を働いていたという老婆の発言自体が、作り話の可能性がある。

肯定側：仮に老婆の発言が作り話だったにせよ、そのような言い逃れを老婆に強いることになっている異様な状況に目を向けるべきだと主張。

↓老婆は自分の行為が悪事であることをしっかりと自覚している。それが悪だと知りつつも悪事を働くという自覚的行為であるという点で、老婆の行為はいっそう非難に値する。老婆の個人的な精神性の問題だ。

(3) 「しかたがない」という一言のもとに老婆の行為を正当化することはできない。もしこのような一方的な論理が正当化されてしまうならば、戦争や犯罪など、あらゆる非人道的な行為が、「しかたがない」こととして簡単に片づけられてしまう。

肯定側：老婆は極限状態に置かれており、単純なモラルの問題では片づけられないと主張。

↓極限状態においてこそ、その人の真価というものは発揮されるはずだ。例えば、ナチスドイツ時代の強制収容所において、餓死寸前の極限状態にあった人間が、それでもパンを仲間に分け与えたという話がある。

以上のような点から、老婆の主張は否定されるべきであると主張する。

【バズセッション①／グループディスカッションシート】

論題

下人が老婆に言い放った最後の発言について、どのように考えるか。

リーダー「

」

書記「

」

各メンバーの意見

・いくら飢え死にをするような状況に置かれているからといって、それが引剥ぎをしてよい理由にはならない。下人はここで自己中心的なエゴイズムを露わにしている。（○村）

・老婆も死人の髪を抜いていたのだから、ここで老婆が下人の引剥ぎに遭ってしまうことは、致し方がないのでなかろうか。下人の発言自体が、老婆の発言を応用した形になっているので、老婆は下人の行為を正当化する理論を凶らずも自ら下人に与えてしまったことになる。（△田）

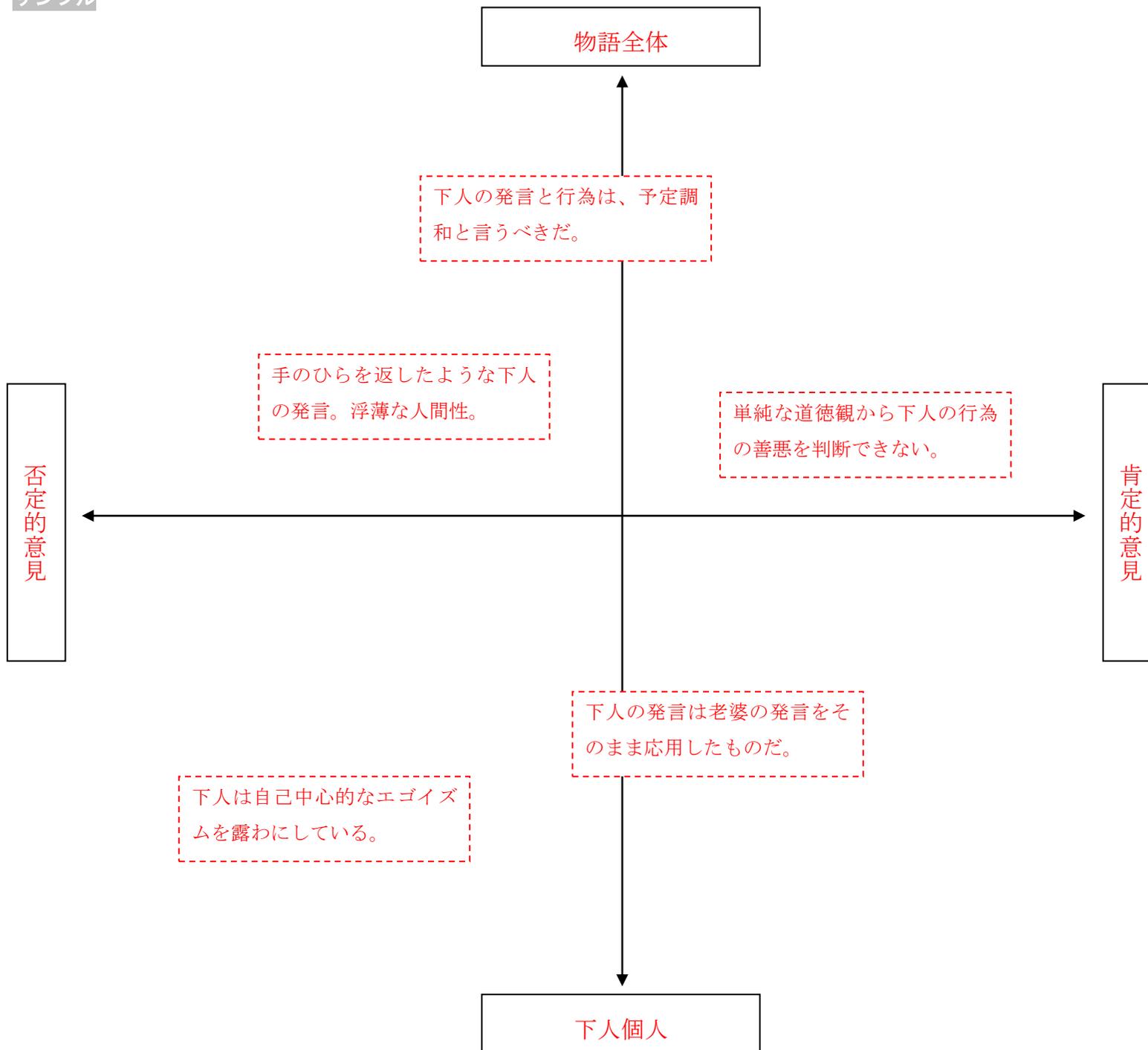
・下人も老婆も、極限状態に置かれている。そのようなときに、単純な道德観によって下人の行為の善悪を判断することは難しいのではないだろうか。（×木）

・髪の毛を抜いている老婆の姿を目の当たりにしたとき、下人は「激しい憎悪」や「あらゆる悪に対する反感」を覚えていたはずだ。それなのに、まるで手のひらを返したような発言を下人はここでしている。下人の浮薄な人間性が浮き彫りになっている。（□谷）

・小説の前半部にすでに、「どうにもならないことを、どうにかするためには、手段を選んでいいとまはない。」という記述がみられる。だから、ここでの下人の発言と行為は、すべて予定調和と言うべき展開だったと言えるのではなかろうか。（☆野）

【バスセッション②／整理シート（座標軸法）】

各メンバーの意見を複数の観点に沿って整理していく。出た意見をもとに二種類の対になる観点を決めて縦軸と横軸に配し、それぞれの意見が座標軸上のどのあたりに位置するかを考えて書き込む。（付箋などに書いて貼ってもよい。）全体を見ながらチームの意見をまとめる。（観点の例）縦軸：「社会・個人」、横軸：「肯定・否定」など



羅生門 ⑫

年 組 番 名前

【パネルディスカッション①／聞き取りシート】

テーマ

老婆（下人）の発言について

各パネリストの意見（主張の要旨と根拠）

〔 〕

疑問点・反論点・同意点・感想など

〔 〕

疑問点・反論点・同意点・感想など

〔 〕

疑問点・反論点・同意点・感想など

〔 〕

疑問点・反論点・同意点・感想など

サンプル